



看護部通信

2021年9月



SDGs（持続可能な開発目標）は幅広い年齢層に認知され、個々の生活のなかで積極的に取り組む方も増えてきました。世界のSDGs達成ランキング（2019年）で日本は15位。課題として指摘されているのは「ジェンダー平等」「つくる責任つかう責任」「気候変動への具体的な対策」などです。

この機会に自分にできることを改めて考えてみませんか。アクションをしている人達を応援することもSDGsです。（看護師長会）

『今日この頃』

1病棟 R・I

少し前からNetflixで韓ドラ（韓国ドラマ）にはまっています。定額制の見放題なので、つい時間を忘れて見入ってしまいます。「愛の不時着」「梨泰院クラス」などは、どれも面白くて出演者はイケメン揃い。女性ファンが多く、はまりすぎて抜けられないことから、「（韓ドラ）沼」とも言われています。

個人差はありますが、はまっている同士で「あなたも沼ね。」と指摘しあうこともあります。そんななか、はまっていた友人が「沼」から抜け出しました。連日連夜の寝不足でも見るのをやめられなかったため、「いっそのこと」と意を決し解約したところ気持ちがスッパリしたそうです。

自分だけは大丈夫だと思っていたのですが、振り返ると韓ドラ鑑賞に夢中になりすぎて、子供の話に素っ気ない態度になったり、こちらから話しかけるのは叱る時だけだったかもと気づきました。何事もほどほどにしておかないと・・・と反省した今日この頃でした。



「ほどほど」って難しいですね。

「今夜は韓ドラ沼に入りま〜す」って宣言したら抜け出しやすいかな（笑）

『東京オリンピックから感じたこと』

1病棟 S・Y

コロナ禍で開催が危ぶまれた東京オリンピックでしたが、日本は金メダルを過去最高の27個獲得することができました。1年延期となった中でモチベーションを維持し、オリンピックのために頑張ってきた選手のみなさんの気持ちを考えると、心から「お疲れさまでした」と労いの言葉を伝えたいです。

今回の東京オリンピックでは新競技がいくつかあり、そのすべての新競技で日本はメダルを獲得していました。その中でも、スケートボードストリートで10代~20代前半の若い世代の選手たちの活躍が印象に残っています。

これまでスポーツというよりは趣味の一貫と認識されてきたスケートボードやサーフィン、スポーツクライミングなどがオリンピック競技に加わり、スポーツの幅が広がったように感じましたし、若い世代の選手たちの活躍を見て、私も自分の子供にスポーツを通してたくさんの経験をさせてあげたいと思いました。

頑張っているひとを見ると勇気が湧いてきます。

応援する声を聴くと胸が熱くなります。

スポーツにはすごい力がありますよね。

